

内監発 第10-14
平成22年12月27日

理事長殿

写)青木監事、大城監事

写)大木専務理事、齊藤事務局長、

写)奥原理事、阪本部長

監査室 草野



総 括 監 査 報 告 書

標記の件、下記の通りご報告申し上げます。

1. 被監査部名:資金管理センター
2. 監査実施期間:平成22年11月8日(月)～平成22年11月19日(金)
3. 監査の対象
 - 1)平成21年度に行われた輸出返還事務センター次期委託事業者選定に係る全手続について
透明性・公平性が確保されているか(恣意性が排除されているか)の確認。
 - 2)前回監査結果のフォローアップ(措置回答書どおりの対応がなされ、定着化しているかの確認)
4. 監査担当者:草野

監査結果

1. 総評:輸出返還事務センターの次期委託事業者は一般競争入札の結果、日本IBMに決定したが、選定に係る手続全般について透明性、公平性が懸念される点がないことを確認した。但し、次回の入札機会に備え、より有利な提案・価格提示を受ける観点から、今回の事業者選定における検討課題を整理しておくことが望まれる。また、前回の監査室監査の提言及び、トーマツの業務監査結果をフォローしたが、措置回答書通りの対応が定着化され、業務管理水準の向上が図られたことを確認できた。
2. 不備事項:業務ミス及び、透明性・公平性が懸念される事項は認められない。
3. 提言は下記のとおり1件。
 - ・次回の業者選定に備え、今回の選定手続で検討すべき課題があれば整理しておくことが望ましい。

以 上